

発行：新潟北高等学校

23051319

GWも終わりを告げた10日、シンガーソングライターとしてまた実体験に基づいてボランティア活動を行っている中村光春氏(長岡市在住)から「**家族の死から学んだ交通事故～交通事故のない社会を目指して**」と題してご講演いただいた。



中村氏のご講演の中で、ご二男守宏君の交通事故死きっかけとしてボランティア活動や歌の創作に励んだとのことでした。中でも、「亡くなった方たちはいったいどういう思いで亡くなったのだろう、きっとそれぞれに夢があっただろに。」と。そうした方たちの思いを代弁し、「交通事故の恐ろしい現実を知ってもらおうと同時に、^{いのち}生命の大切さを知ってもらいたい」と熱く語っておられた氏の姿が印象的でした。



本校では生徒ひとりひとりの「^{いのち}こころ」を育てるべく日々取り組んでいますが、その根底たる^{いのち}生命(身体と^{からだ}こころの両面)の尊さをかみしめ、自分のそれはもちろん、他者やそれをも大切にす人になってほしいと願っている。

本校生にご講演される中村光春氏

折しも、講演会当日は、東日本大震災発生からほぼ2ヶ月後であった。

